

# 福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学) 月例報告書

平成 27 年 02 月 05 日 記入

1月

留学先： **ハンブルク大学**

氏名： **三上 結以**

## ① 学習面について

今学期も1月いっぱいまで終わりということで、月末には試験がありました。英語の試験は、プレゼンテーションで取り上げたテーマについてのエッセイを書くという内容でした。ドイツの大学では、試験はボールペン等の消せないもので行います。そのため、エッセイを書くときはまず別の紙に下書きをしてから書きました。試験時間は90分なので、時間はたっぷりあると思っていたのですが、意外に時間が足りず、ギリギリまで書いていました。

ドイツ語の試験では、たくさん勉強して、前日にもタンデムパートナーに教えてもらったりしたのですが、試験自体がとても難しく、あまり良い結果ではありませんでした。しかし、その試験のおかげで、自分が理解できていない部分があった点は良かったです。春休みに復習したいと思います。



授業終わりに

## 生活面について

1月は、ホームパーティーに招かれることが多く、新年会や鍋パーティーなどがありました。ドイツに来て、日本食を食べる機会が少ないので、久しぶりに食べた鍋に感動してしまいました。メンバーはいつもだいたい一緒に、ハンブルク大学に交換留学で来ている日本人だけでなく、ワーキングホリデーで来ている人や、こちらで働いている人など様々です。もちろんドイツ人もいます。色々な立場の人の話が聞けるのでとても刺激があります。それに、何回か会っている人ばかりで、みんな仲がいいのでとても楽しいです。

ドイツに来て、「出会い」は本当に大事だと思いました。仲の良い友達がいるのといないのでは、毎日が全く違うでしょうし、知らない土地で一人で全てのことをするのは大変です。私は、ドイツに来て出会った友達にとっても感謝しています。



新年会にて

## ③ 現地学生や留学生との交流について

ハンブルクでは、さまざまなパーティーやStammtischがあります。Stammtischとは、ドイツ語で常連用テーブルや定期的な常連の会合という意味です。私が参加しているのは、日本語学習者のドイツ人と日本人の集まりや、ドイツ語の語学学校が主催しているもの、ドイツ人と外国人が交流するインターナショナル・パーティーなどです。これらは、週に1回または月に1回行われます。インターナショナル・パーティーでは全員が英語で話し、その他二つでは主にドイツ語が話されます。学生もいれば、社会人もいて、毎回色々な人と話することができます。ドイツ語や英語の勉強になる上、友達もできるので、毎回楽しみにしています。日本に帰っても、このような集まりがあれば、ぜひ参加したいと思います。



インターナショナル・パーティーにて

## ④ その他

今回は、日本語授業のサポートについて紹介したいと思います。私は、二年生の授業を一学期に亘ってサポートしていました。その授業では、毎回、決められたテーマについて意見を交換します。スポーツや食べ物、旅行、趣味などについて話し合いました。中でも興味深かったテーマは、ロボットについてです。近年、様々なロボットが開発されていますが、「このままロボットを作り続けて良いのか」ということについて話し合いました。賛成意見は、「災害時の救助ロボットのように、危険なことを人間の代わりにロボットがしてくれるのは良いことだから、ロボットが増えることは良いことだ。」など、反対意見は、「ロボットを作りすぎると、人間の仕事をロボットに奪われてしまうし、将来的に人間はロボットに支配されてしまう。」などの意見が多く聞かれました。これを、ドイツの学生が日本語で議論していて、とても感心しました。私がもしこのテーマについて、英語またはドイツ語で話し合うことになれば、かなり難しいだろうと思いました。

私はサポーターとして、日本語の使い方や言い回しを直したり、日本人の考え方や日本のことを教えたり、自分も意見を言うなどしました。日本語を教えることは意外に難しく、いつも悪戦苦闘しながら説明していました。サポートと言いつつも、日本や日本語について改めて考えさせられる機会となり、とても良い勉強になりました。

#### ⑤ 今月を振り返って

先月は、クリスマスや旅行などで勉強を疎かにしてしまいましたが、1月は試験もあったので、勉強中心の一月になりました。一人で勉強するのもいいですが、私の場合は、誰かと一緒の方が捗りました。一人で勉強していると、分かっている気になってしまいますが、実際にはきちんと理解していないことも多くあります。誰かと勉強していると、いつもであれば自分の中で解決してしまうようなちょっとした疑問も、まずは質問してみようという気になります。そして、説明してもらえると、きちんと理解できていなかった点や、他に分かっていたことにも気づきます。また、一人で勉強しているときはとにかく暗記すれば良いと思っていたことも、質問してみると理屈を説明してもらえ、より一層理解が深まりました。私のドイツ語の勉強を手伝ってくれたタンデムパートナーと日本人の友達にはとても感謝しています。私もドイツ人に日本語を教えるときには、分かりやすく説明できるようになりたいです。

留学生活も一月を切ってしまいました。悔いのないよう、残された日々を充実したものにしたいと思います。